キヤノンITソリューションズ株式会社

DEX-III (Windows 版) バージョン 2.03 リビジョン01 変更内容について

揮啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。 さて、当社製品「DEXーⅢ(Windows 版)」(Ver.2.02→Ver.2.03-01)において、 下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

「強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - <全銀ベーシック手順/JCA 手順>
 - · Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - · Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - <全銀 TCP/IP 手順>
 - · Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
 - · Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
 - ※Java 実行環境は 64bitJava7 のみの対応です。
- ◎以下の OS の 64bitJava7 環境に対応しました。<全銀ベーシック手順/JCA 手順>
 - · Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard
 - · Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise
- ◎以下のブラウザに対応しました。
 - · Windows Internet Explorer 11
- ◎転送処理済みのファイルのステータスを以下のとおり変更しました。
 - 「処理済み(正常)」を「送信済み」/「受信済み」に変更
 - ・「処理済み(異常)」を「異常終了」に変更

[ライセンス関連]

◎運用管理画面から、ライセンスの登録、およびライセンス情報の確認をできるようにしました。

[インストール関連]

◎運用管理画面の接続ポートのデフォルトを「80」から「59318」に変更しました。

[運用管理機能関連]

◎運用管理画面の操作性を変更しました。

それにともない、画面のデザインも変更しました。

<主な変更点>

- ・画面をメニューエリアと操作エリアに分けました。
- ・メニューを運用メニューと設定メニューに分け、各メニューで可能な操作を制限しました。
- 「戻る」アイコンを追加し、リンク先の画面からリンク元の画面に戻れるようにしました。
- ・一覧における対象の一括選択・一括解除をチェックボックスでの操作に変更しました。
- ・操作ボタンをアイコンに変更しました。
- ◎運用管理画面のメニュー構成を以下のように変更しました。

(メインメニュー : サブメニュー)

<運用メニュー>

通信:ポート、フォルダ、転送状況

スケジューラ : ジョブ

ログ : 通信ログ、スケジュールログ

<設定メニュー>

アカウント: アカウント、運用グループ、アカウントポリシー通信: ポート、通信/ファイル定義、フォルダ、コマンドスケジューラ: スケジュール、コマンド、ジョブ、カレンダー

ログ : 定義操作ログ、ユーザアクセスログ システム : ログ設定、システム設定、ライセンス

※運用者と照会者には、メインメニューの「アカウント」「システム」は表示されません。

※運用メニューでは、定義の追加や削除、フォルダー覧でのホールド・リリースはできません。

※設定メニューでは、転送開始・中断、サイクル番号の変更、ファイル操作はできません。

- ◎運用管理画面における表記を以下のとおり変更しました。
 - <全般>
 - ・「TCP」を「全銀 TCP/IP」に変更
 - <運用グループ画面>
 - 「グループ名」を「運用グループ名」に変更
 - <アカウントポリシー画面>
 - ・「ポリシー名」を「アカウントポリシー名」に変更
 - <ポート設定画面>
 - ・「DEX-III 起動時にオープンする」を「システム起動時にオープンする」に変更
 - <ファイル定義設定画面>
 - ・「圧縮を行う」を「圧縮」に変更
 - <ジョブ設定画面>
 - ・「システム起動時にジョブの開始を行う」を「システム起動時に開始する」に変更
 - <通信ログ照会画面>
 - ・「種類」を「処理カテゴリ」に変更
 - <通信ログ詳細画面>
 - ・「処理開始日時」を「開始日時」に変更
 - ・「処理終了日時」を「終了日時」に変更
 - 「処理対象」を「対象」に変更
- ◎運用管理画面のファイル一覧に「転送済みレコード数」を表示するようにしました。 項目の追加にともない、以下の情報の表示を「ミリ秒」までから「秒」までに変更しました。
 - 登録日時
 - ・転送完了日時
- ◎ファイルのステータスが「送信済み」/「受信済み」(旧「処理済み(正常)」)の場合にも、運用管理 画面のファイル一覧から通信ログ詳細画面へ移動できるようにしました。

[セキュリティ機能関連]

- ◎以下のアカウントポリシーを設定できるようにしました。
 - ・「ロックアウト解除後の最初のログインでパスワードの変更を要求する」(デフォルト:オフ)
 - ※Ver.2.02-02 以前と同様にアカウント作成後およびロックアウト解除後の最初のログイン時にパスワードを変更させる場合、本設定をオンにします。
- ◎以下のアカウントポリシーを無効化するために「0 日」を設定できるようにし、それをデフォルトにしました。
 - ・アカウント自動ロックアウト [一定期間利用なし]
 - ・アカウント自動削除 [一定期間利用なし]
- ◎アカウント「admin」には、パスワードが変更されても、パスワード有効日数のポリシーを適用しないようにしました。
- ◎照会者が運用管理画面で以下の情報を照会できるようにしました。
 - 転送状況
 - ・定義操作ログ

[保守機能関連]

- ◎ログ閲覧ツールの機能を運用管理画面に統合し、運用管理画面の通信ログ詳細画面で以下のログを閲覧できるようにしました。
 - ・メッセージログ
 - ファイル転送ログ
 - ポートアクセスログ
- ◎運用管理画面の通信ログ照会画面の一覧に「処理時間」を表示するようにしました。
- ◎運用管理画面の通信ログ詳細画面における以下の情報の表示を「秒」までから「ミリ秒」までに変更しました。
 - 開始日時
 - •終了日時

「マニュアル関連]

- ◎運用管理画面から以下のマニュアルを参照できるようにしました。
 - ・『DEX-III ユーザーズガイド』
 - ・『DEX-III コマンドラインユーティリティ リファレンスガイド』
 - ・『DEX-III コード変換処理 リファレンスガイド』
 - ・『DEX-III 定義インポート&エクスポート リファレンスガイド』
 - ・『DEX-III WinSAM & IXSAM 設定ガイド』

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[運用管理機能関連]

- ・同じ名前の通信定義が存在すると、運用管理画面の通信定義一覧画面に通信定義に紐付くファイル定義の 一覧を正しく表示しないことがある。
- ・運用管理画面にログイン中に「アカウント名」が変更されると、そのアカウントによる画面の表示時に "InvocationTargetException"のエラーが発生するようになる。
- ・運用管理画面の BSC ポートの編集において、「IXSAM/WINSAM 端末名」が重複エラーとなったときに「ポート名」が変更されていると、重複しない「IXSAM/WINSAM 端末名」で保存し直してもシステムエラーが発生する。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.1	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	_	0
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	_	0
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	_	0

〇:確認済み -:対象外

<前提条件>

仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト **OS** の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご 契約ください。
- ・ゲストOSは、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上